

編集後記

昭和二十八年の発足から満二十七年、ここに一〇〇号記念号をお届けします。

巻頭に県教育長の友田享史、大分大学長の中村末男の両氏に加えて、竹内理三博士からもお祝いのことばを頂戴した。毎年、県教育委員会からは助成を、大分大学には発足以来の事務局を、竹内博士及び会長渡辺博士には会発足以後一貫したご指導をいただいている。この一〇〇号記念を刊行するに当り、会員各位とともに改めてお礼申し上げたい。

本号は、本誌がこれまで掲載して来た各位の労作の総目録に併せて、会員名簿を特集した。目録は創刊号からの遂号目録と、分野別目録とに分けて編集し利用しやすくした。これまでの大分県地方史の歩みに併せて、各位の今後の研究にお役に立てば幸である。

一方、会員名簿により地方史研究の会友が各方面に及んでいることを承知するであろう。相互の一層の連携により、調査研究の飛躍的發展を願うと共に、県下の地域によっては、会員に濃淡があることを知るであろう。未参加の友の一日も早い参加を、お互に呼び掛けたいものである。

新年は一〇一号だ。次の歩みに向けて、会員各位の一層の

ご研鑽を祈念する。

最後に会運営の経費面での御指導を頂いた歴代監事各位と編集委員各位の労苦に心から感謝申し上げます。

昭和五十五年十二月二十日 印刷
昭和五十五年十二月三十日 発行

大分県地方史 第一〇〇号

編集者 橋本操 六

豊田寛 三

西別府元 日

後藤正 二

渡辺澄 夫

印刷者 中尾芳 郎

別府市中央町九一―五

印刷所 日の丸印刷株式会社
(電話 ②〇三四一)

発行所

〒八七〇一―一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関五二九四番)